豊浦町開基140周年記念誌
Toyoura-town,Hokkaido
140th
anniversary
北海道豊浦町

開基140周年記念誌発刊に寄せて

豊浦町長

村 井 洋 一

豊浦町は明治 13 年 3 月 18 日、虻田郡に「虻田村」「弁辺村」「礼文華村」の三ヶ村を治める各戸長役場が設けられた時をもって開基と定め、本年（2020 年）140 周年を迎えました。

この 140 年の歴史には、明治、大正、昭和、平成、令和と延々と時を刻み続けてきましたが、その間、昭和 7 年には弁辺村から豊浦村へ改称し、昭和 22 年には町制を施行し現在に至っております。

今日の豊浦町は、先人の努力、英知、勇気の積み重ねにより築き上げられたものであり、また、町民各位の日々弛まぬ努力の賜物と深く感謝申し上げます。

豊浦町は、「人とつながり　自然と笑顔あふれるまち　とようら」を将来のまちの姿のスローガンに掲げ、さまざまな取り組みを推し進めています。

私たちの大切な豊浦町をしっかりと次世代へバトンタッチしていくために、今後とも皆様の一層のお力添えいただければ幸いです。

豊浦町の歩み

享保 4年（1719）	飛騨屋久兵衛が杣夫 150 人、改人 6 人、手代ならびに米軍搬夫 15 人、鍛冶 5 人を引き連れてオフケシ川、ベンベ川において伐木をした。この運上金が年に 825 両で、享保 12 年に至る 8 年間、毎年実施した
寛政10年（1798）	松前藩は礼文華に会所を設け、知行主を酒井弥六とした
寛政11年（1799）	松前藩は政府の内命により礼文華山道の開鑿に着手したが、同年には開通せず、翌年小林卯十郎がこれを改修したものの人馬の往来はなお困難であった。文化元年より文化 3 年に至る間、警衛の士卒により竣工した山道は延長 4 里で道幅は 3 尺を標準として、道の左右を 3 尺ずつ草木を伐り払ったものである
安政 6年 9月（1859）	南部藩美南部美濃守の領地となる
明治 元年	箱館裁判所の管轄となる
明治 2年 9月	大泉藩の支配地となる
明治 2年	北原屋左吉礼文華駅逓守となる
明治 3年 9月	開拓使に隷属した
明治 4年 3月	伊達亘理藩の伊達藤五郎の支配地となる
明治11年	佐藤栄五郎他 22 名、移住部落的開拓を行う
明治13年 3月	虻田郡各村戸長役場がおかれ、その管轄下となる（この年を豊浦町の開基と定める）
明治20年	太刀川善五郎が大鉾岸沿岸において未開地 99,000 坪を借受け、小作人 10 戸を移住させた
明治29年	川口祐吉に未開地 96,000 坪借受け、小作数戸を移住させた
明治30年 2月	昆布川官林 554,520 坪が解除され、小松亮太郎他 3 名に貸与された
明治35年 4月	2 級町村制を施行し、虻田村に両村組合役場をおく室蘭警察署伊達分署弁辺巡査駐在所設置

豊浦町民憲章

わたしたちは豊かな内浦の海と美しい緑の山に
恵まれた豊浦の町民です

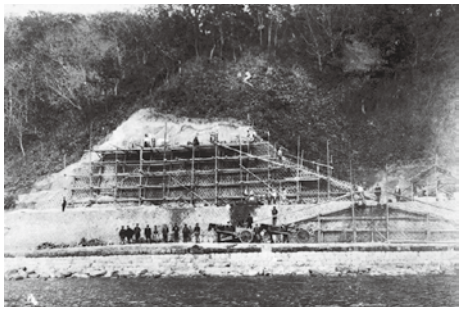
1．健康で働き　のびゆくまちをつくりましょう
1．自然を愛し　きれいなまちをつくりましょう
1．きまりを守り　住みよいまちをつくりましょう
1．教養を深め　すぐれた文化のまちをつくりましょう
1．希望にもえ　心あたたかいまちをつくりましょう

町花 キ ク

町木 ウ メ

先人たちの努力

開拓から数十年、かつて“村”と呼ばれていた時代、人々は日々発展に力を注いできた。鉄道、鉱山、漁業…現在のように技術が進歩していない時代、血の滲むような努力をしながら、故郷の礎を築いてきた。先人たちの苦労があるからこそ、今日の豊浦がある。



昭和３年開通
長輪線（室蘭本線）
工事の様子

昭和 15 年頃
定置網マグロ漁

昭和 17 年
小鉾岸鉱山製錬所（大岸）

昭和 20 年代
漁港に水揚げされたイワシ

昭和 20 年代 豊浦市街地

明治39年	上昆布原野 1,517,668 坪を植民区域として施工した
明治41年 5月	山梨県より壮滝別（山梨）に 93 戸移住
明治42年 3月	山梨県より弁辺原野（新山梨）に 106 戸移住
明治42年 4月	組合役場を解き、字弁辺に弁辺村役場を開設
大正 7年	静狩を分離して長万部村に移管
大正 8年	弁辺市街に電灯を灯した
大正 9年	市街地に電話が開通
大正14年 3月	狩太村と境界変更（字中昆布桂の沢、柳の沢を分離）
大正14年10月	国勢調査実施（人口 7,932 人　世帯 1,406 戸）
昭和 3年	役場新庁舎完成
昭和 3年 9月	長輪線（室蘭本線）開通 豊浦、小鉾岸、礼文各駅開設
昭和 5年10月	国勢調査実施（人口 7,462 人　世帯 1,298 戸）
昭和 7年 4月	村名弁辺村を豊浦村と改称、字名をそれぞれ改めた
昭和 8年 3月	豊浦、礼文華、美和、新山梨小学校および大岸鉱山分校完成
昭和 8年 4月	豊浦港船入澗の築設に着手
昭和10年10月	国勢調査実施（人口 8,206 人　世帯 1,400 戸）
昭和11年	豊浦漁港完成
昭和14年	豊浦警防団結成
昭和15年10月	国勢調査実施（人口 8,217 人　世帯 1,338 戸）
昭和16年	大岸小学校完成
昭和17年	日本産金振興株式会社豊浦精錬所が操業開始
昭和17年 6月	豊浦村森林組合設立
昭和19年	室蘭本線豊泉信号場設置
昭和20年10月	国勢調査実施（人口 11,007 人　世帯 1,957 戸）
昭和22年 5月	新学制（6、3、3、4）実施に伴い新制中学校誕生
昭和22年 7月	町制施行
昭和22年	豊浦警防団を解消、豊浦消防団結成
昭和23年	桜小学校完成 自治体警察豊浦警察署発足
昭和24年 5月	国鉄自動車営業所が設置され真狩・洞爺・山梨線が開通 礼文華中学校完成
昭和24年 6月	豊浦漁業協同組合設立
昭和25年 4月	伊達高等学校定時制課程豊浦分校を豊浦小学校に併置
昭和25年 6月	国鉄自動車山梨線開業（豊浦－下山梨間）
昭和25年 9月	豊浦町立国民健康保険病院設置
昭和25年10月	国勢調査実施（人口 11,194 人　世帯 1,977 戸）
昭和25年	美和中学校完成
昭和26年	豊浦有線放送協会放送開始 大岸中学校、新富小学校完成 豊浦漁港南島堤工事着工
昭和27年 7月	豊浦高等学校（伊達高等学校より独立）豊浦小学校に併置
昭和28年	新山梨中学校完成
昭和30年10月	国勢調査実施（人口 11,005 人　世帯 1,954 戸）
昭和31年	上泉中学校完成
昭和32年	大和、山梨小中学校改築
昭和34年	新富中学校・豊浦高等学校新校舎完成
昭和36年 3月	豊浦漁港南島堤工事完了（S26 年着工）
昭和38年 1月	豊浦市街地区簡易水道工事完了 礼文華生活館、共同浴場完成
昭和38年 4月	町立保育所開設
昭和38年 8月	豊浦市街地国道 37 号舗装工事完了
昭和38年11月	豊浦町社会館完成 役場庁舎増改築工事完了

昭和39年 1月　大岸生活館、共同浴場完成
昭和40年 5月　町立国保病院診療棟改築工事完了
昭和40年10月　大和地区簡易水道工事完了
国勢調査実施（人口 9,698 人　世帯 2,156 戸）
昭和42年 1月　学校給食センター完成
昭和42年 2月　児童館完成
昭和42年10月　大岸地区簡易水道工事完了
昭和43年 5月　礼文華地区水道工事完了
町立国保病院病棟改築工事完了
室蘭本線複線化により豊泉駅廃止
昭和43年11月　礼文華地区簡易水道工事完了
昭和44年 3月　町立国保病院病棟改築工事完了
町消防庁舎改築工事完了
昭和44年 5月　役場庁舎増改築工事完了
昭和44年12月　じん芥焼却場完成
昭和45年 1月　礼文華診療所完成
昭和45年10月　西胆振消防組合発足
豊浦駅構内跨線人道橋完成
国勢調査実施（人口 7,519 人　世帯 1,953 戸）
昭和45年11月　ＮＨＫ豊浦サテライト局開局
昭和46年 7月　第１回帆立いちごまつり
昭和46年 9月　第１回産業まつり
（豊浦神社祭典と合併）
昭和47年 8月　豊浦統合中学校第２期建設工事完了
昭和48年 8月　豊浦統合小学校校舎・屋体完成
昭和49年 3月　生活改善センター完成（S48.10 ～）
昭和50年 1月　豊浦町立保育所完成
町立豊浦高等学校普通科設置認可
昭和50年 3月　ファミリースポーツセンター完成（S49.8 ～）
昭和50年 9月　商工まつりを再び第１回産業まつりとして開催
昭和50年10月　国勢調査実施（人口 6,769 人　世帯 1,961 戸）
昭和50年12月　養鱒公園、養魚施設完成（S48.7 ～）
昭和51年 2月　町の木に「梅」、花を「菊」と制定
昭和51年 9月　第１回長寿まつり
昭和51年10月　役場新庁舎完成（S51.2 ～）
昭和52年 6月　町民憲章制定
昭和52年 7月　町制施行 30 周年記念式典
昭和52年 8月　有珠山噴火災害対策本部及び同議会特別委員会設置
昭和53年12月　礼文華小学校新校舎完成
昭和54年 7月　第９回いちご豚肉まつり（ホタテから豚肉）
昭和54年10月　豊浦町開基を明治 13 年３月 18 日と定める
昭和55年 3月　豊浦高等学校道立へ移管
昭和55年 7月　豊浦町開基 100 年記念式典
昭和55年10月　国勢調査実施（人口 6,424 人　世帯 2,007 戸）
昭和55年11月　町営バス運行開始（山梨線・新富線）
民間放送（４局）豊浦テレビジョン中継局開局
昭和56年 2月　礼文華中学校々舎屋内運動場改築工事完了
昭和57年11月　美和小学校新校舎完成
昭和58年 1月　新山梨小学校新校舎完成
豊浦町社会館新築完成
昭和58年 4月　豊浦町立幼稚園開設
昭和58年10月　特定環境保全公共下水道工事着工
昭和58年12月　高齢者コミュニティセンター新築工事完了
昭和59年12月　東雲山村広場造成整備工事完了（S57.4 ～）
昭和60年 3月　山梨小学校新校舎完成
昭和60年 5月　第１回豊浦町福祉団体ふれあい運動会
昭和60年 7月　地籍調査事業竣工記念式典
特別養護老人ホーム 幸豊ハイツ開設
昭和60年10月　国勢調査実施（人口 6,112 人　世帯 1,997 戸）

昔の豊浦の様子

昭和 20 年代
蹄鉄屋の様子

昭和 30 年代
『豊浦いちご』収穫の様子

昭和 37 年頃
当時盛んに行われていた
ばん場競走（浜町にて）

昔の豊浦駅

昭和 30 年代

昭和 50 年代

町は少しずつ変化を遂げてきた。
いつの時代も、人々は活気に溢れていた。

昭和 38 年
家畜品評会
（浜町共進会場）

昭和 39 年
当時豊浦で活躍していた
消防ポンプ車

昭和 45 年
町民スキー大会
（高橋スロープ）

昔の本町通り

昭和 38 年

昭和 50 年代

昭和 30 年代 豊浦市街地

昭和61年 3月　豊浦小学校プール完成
昭和61年 4月　町営バス運行開始（成香線）
昭和61年 6月　町営バス運行開始（礼文華線）
昭和61年 9月　第 1 回べんべよいとこ祭り
昭和61年12月　学校給食センター移設新築工事完了
札幌豊浦会発足
とうや湖農協合併調印式
昭和62年 3月　5 農協合併により「とうや湖農業協同組合」発足
昭和62年 7月　豊浦町文学碑公園竣工除幕式・祝賀会
昭和62年11月　地方自治法施行 40 周年、自治制交付 100 年記念自治大臣表彰受賞
とようら幼稚園園舎完成
桜・高岡地区簡易水道拡張工事完了
昭和63年 7月　カムイチャシ史蹟公園完成
昭和63年 9月　第 1 回豊浦景勝駅伝大会
平成 元年 7月　森林公園オープン
平成 元年 8月　全国三豊浦町友好盟約を新潟県豊浦町で締結
平成 元年 9月　第 1 回健康まつり及びふれあい広場
平成 元年10月　北海水力発電所竣工式
平成 元年11月　大岸小学校 100 周年記念式典
平成 元年12月　ＪＲ豊浦駅舎、旭町集会所完成
平成 2年 4月　まちなみ整備事業開始
平成 2年 6月　豊浦町開基 110 年記念植樹
平成 2年 7月　豊浦町開基 110 年記念町民大運動会
平成 2年10月　豊浦町開基 110 年記念式典
全国三豊浦町サミット（山口県豊浦町）
国勢調査実施（人口 5,790 人　世帯 1,929 戸）
平成 3年 2月　海岸環境整備事業着工
平成 3年 7月　全国三豊浦町サミット（本町開催）
平成 3年 8月　豊浦小学校開校 100 年・桜小学校統合 20 周年記念式典
平成 3年 9月　第 1 回豊浦漁港豊漁まつり
平成 3年10月　昆布岳登山道路完成記念町民紅葉のつどい
商工会法制化創立 30 周年記念式典・祝賀会・記念事業「タイムカプセル」埋蔵式
平成 3年11月　文化団体協議会設立 20 周年記念式典
平成 3年12月　新富小学校改築工事完了
平成 4年 5月　豊浦浄化センター通水式・祝賀会
平成 4年 7月　礼文華小学校屋根つきプール完成
平成 4年 8月　全国豊浦町子ども交流会
礼文華生活館完成（H3.8 ～）
平成 4年11月　やまと郭公の里落成式
平成 4年12月　豊浦温泉湧出
平成 5年 4月　高岡・礼文華地区農地海岸環境整備事業農林水産省採択
平成 5年 7月　礼文華小学校開校 100 周年記念式典
平成 5年 8月　東雲山村広場パークゴルフ場「ボルガノベイコース」オープン記念大会
平成 5年 9月　伊達豊浦会発足
平成 6年 3月　町道豊浦本町線の道道昇格決定
平成 7年 3月　「ふるさとドーム」完成（H6.1 ～）
平成 7年 8月　新生「べんべよいとこ祭り（第 10 回）」
平成 7年10月　国勢調査実施（人口 6,121 人　世帯 2,698 戸）
平成 8年 3月　大岸いきいきセンター完成
平成 8年 4月　道南バス、豊浦～伊達間運行開始
平成 8年 6月　豊浦町産業創造センターオープン
平成 8年 7月　第 1 回礼文華岩屋秘境まつり
平成 8年11月　国道 37 号新礼文華トンネル開通
平成 9年 7月　第 1 回カムイノミ・イチャルパ
平成 9年10月　道央自動車道「虻田洞爺湖 I.C ～長万部 I.C」開通
平成 9年11月　町制施行 50 周年記念式典

平成10年 9月	国民健康保険病院改築工事完了（H9.8 ～） 大岸漁港完成（S57 ～）
平成10年10月	大和大橋（222 m）、新大和橋（80 m）完成
平成11年 4月	伊能忠敬が本町を測量して 200 年目を記念し、「歴史の道モニュメント」を噴火湾展望公園北展望塔に建立
平成11年 5月	洞爺オーストリッチファームが、カナダよりダチョウ 313 羽輸入（国内最大規模）
平成12年 1月	第 1 回町民玉入れ大会
平成12年 3月	有珠山 23 年ぶりに噴火、虻田町民約 4,000 人が豊浦町に避難
平成12年 4月	「天然豊浦温泉しおさい」オープン
平成12年 5月	総合保健福祉施設「やまびこ」開設
平成12年10月	人工透析施設「しののめクリニック」開設 国勢調査実施（人口 5,286 人　世帯 2,020 戸）
平成12年11月	豊浦町開村 120 周年記念式典
平成12年12月	礼文華小学校大規模改造工事完了
平成13年10月	大和浄化センター完成
平成13年11月	北海道立豊浦高等学校創立 50 周年記念式典
平成13年12月	豊浦小学校開校 110 周年記念祝賀会
平成14年 6月	ザ・ウィンザーホテル洞爺再開業
平成15年 2月	第 1 回まるごと豊浦～北の収穫祭～
平成15年 4月	西胆振消防署豊浦支署新庁舎完成(H14.8 着工) 西胆振地域広域廃棄物処理施設稼動 ４漁協合併により「いぶり噴火湾漁業協同組合」発足
平成15年 6月	豊浦海浜公園オープン
平成15年10月	ゴミの有料化開始
平成15年11月	いちご生産団地完成
平成16年 6月	豊浦町・虻田町・洞爺村合併協議会設立
平成16年 7月	「道の駅とようら」オープン
平成16年11月	東京豊浦会発足
平成17年 2月	豊浦町・虻田町・洞爺村合併協議会より離脱
平成17年 5月	豊浦町子育て支援センター開設
平成17年 7月	豊浦町地域交流センター「とわにー」オープン
平成17年 9月	苫小牧豊浦会発足
平成17年10月	国勢調査実施（人口 4,771 人　世帯 2,009 戸）
平成18年 2月	新西胆振消防組合発足
平成18年 7月	有珠火山防災協定調印式（有珠火山防災会議協議会加入）
平成18年 8月	内藤大助選手、町民栄誉賞（第 1 号）受賞
平成18年11月	「「豊浦いちご」地域ブランド化」商標登録認定
平成19年 5月	東海大学と「地域総合交流協定書」締結
平成19年 7月	内藤大助選手フライ級世界王者に輝く
平成20年 3月	豊浦中学校、旧豊浦高校へ校舎移転
平成20年 4月	北海道シュタイナー学園「いずみの学校」開校
平成20年 7月	北海道洞爺湖サミット 豊浦渚パークゴルフ場オープン
平成20年 9月	森林公園が道より「サミットの森」として指定
平成21年 3月	第 7 回まるごと豊浦～北の収穫祭～において、第 1 回 TOYOURA 世界ホタテ釣り選手権大会開催 豊浦デジタルテレビジョン中継局開局
平成21年 4月	「道の駅とようら」増設リニューアルオープン
平成21年 5月	「子ども農山漁村交流プロジェクト」モデル地域に認定
平成21年 8月	「洞爺湖有珠山ジオパーク」世界ジオパークネットワーク加盟決定
平成22年 3月	「コープ未来の森づくり」協定調印式
平成22年 7月	豊浦町開基 130 周年記念式典 高岡オートキャンプ場オープン

未来へ進む豊浦

平成 28 年 9 月
「礼文ほたて養殖 50 周年」記念式典

平成 29 年 10 月
大山車復活祭

平成 30 年 4 月
おおきし保育所新園舎完成

平成 30 年 8 月
地域産物販売加工施設「すいしゃ」オープン

現在の豊浦駅

近年、町はさまざまな取り組みを行い、未来へ歩みを進めてきた。今日も、そしてこれからも、挑戦を続ける。

平成 30 年 9 月
北海道胆振東部地震・ブラックアウトにより役場に携帯電話の充電をしに列をなす人々

平成 31 年 3 月
太陽光発電「サ・ム・ラ・イ豊浦ソーラーパーク」完成

平成 31 年 4 月
長万部町・黒松内町・豊浦町 3 町連携会議(はしっこ同盟）締結

令和 2 年 3 月
JR 小幌駅の駅業務に関する協定を更新

現在の本町通り

現在の豊浦市街地

平成22年10月　国勢調査実施（人口 4,528 人　世帯 1,944 戸）
平成23年 2月　「カムイチャシ」国指定『名勝ピリカノカ カムイチャシ』として認定
平成23年 3月　東北地方太平洋地震（11 日午後 2 時 46 分）により大津波警報発令
平成23年10月　豊浦町商工会創立 50 周年記念事業「タイムカプセル掘出し式」
平成24年 3月　大和小学校統廃合に関わる応諾書の手交式（平成 24 年 3 月末で閉校～開校 105 年に幕）
平成24年 7月　役場庁舎耐震改修工事開始（工期：平成 25 年 2 月末まで）
平成24年11月　暴風雪による大規模停電発生（最大時大岸・礼文華を除く 1,683 世帯で停電発生）
平成24年12月　大和小学校閉校式典
平成25年 2月　とようら大学 40 周年記念式典
平成25年 8月　大岸地区「フレッツ光」礼文華地区「フレッツＡＤＳＬ」サービス開始
平成26年 3月　とようら幼稚園閉園（昭和 58 年 4 月開園）
認定子ども園「青空」開園
平成27年 1月　デジタル防災行政無線設置工事開始（～ 2/28）
平成27年 2月　「第 1 回とようら町真冬まつり」がとわにーで開催
平成27年 4月　伊達市・豊浦町・洞爺湖町・壮瞥町コミュニティＦＭ放送局（通称 wi-radio（ワイラジオ））が開局
平成27年 6月　第 1 回豊浦町総合戦略策定会議を開催
豊浦温泉 4 号井掘削工事開始
JR 北海道から「小幌駅を 10 月に廃止」する申し出がある
平成27年 8月　町民グラウンド夜間照明完成
豊浦小学校大規模改修工事開始（～ 2/29）
平成27年 9月　婚活 event in とようら開催
平成27年10月　㈱マイファームと「新規就農等に関する連携協定」を締結
JR 北海道と覚書の締結を条件に来年 4 月から 1 年間小幌駅を存続する内容を確認
国勢調査実施（人口 4,291 人　世帯 1,973 戸）
平成27年11月　「豊浦町非核・平和の町宣言」を宣言
平成27年12月　小幌駅 1 年間存続の確認書を締結
平成28年 3月　小幌駅の駅業務に関する協定を締結
平成28年 5月　旧とようら幼稚園において「オープンコミュニティたまりば」オープン
平成28年 9月　「礼文ほたて養殖 50 周年」記念式典
平成29年 5月　ホタテオーナー制度体験事業
平成29年10月　商工会青年部 50 周年記念事業大山車復活祭
平成29年11月　町制施行 70 周年記念式典
地場産物販売加工施設プレオープン・内覧会
第 1 回秘境小幌フォトコンテスト入賞者表彰式
平成30年 4月　おおきし保育所新園舎完成
平成30年 5月　サケ網オーナー制度稚魚放流体験
ホタテオーナー制度耳づり体験
平成30年 7月　一般社団法人噴火湾とようら観光協会発足
平成30年 8月　地場産物販売加工施設「すいしゃ」オープン
平成30年 9月　北海道胆振東部地震による北海道全域ブラックアウト
平成31年 2月　バイオガスプラント完成
平成31年 3月　地域産業連携拠点施設「いちご分校」完成
豊泉に太陽光発電「サ・ム・ラ・イ・豊浦ソーラーパーク」完成
平成31年 4月　渡島管内長万部町、後志管内黒松内町、胆振管内豊浦町の 3 町で「3 町連携会議（はしっこ同盟）」を締結
令和 元年11月　大岸小学校開校 130 周年記念式典開催
令和 2年 1月　洞爺湖有珠山ジオパーク再認定の決定
令和 2年 4月　いぶり噴火湾漁業協同組合豊浦支所竣工式

先人たちがつないできた歴史。
いつの時代も、
変わらない美しい景色がここにある。
次の世代へ残していきたい。

未来へ繋げる活動

バイオガスプラント施設

この施設は、家畜糞尿やホタテ養殖で発生する水産残渣などをバイオマス資源として発電を行い、副産物である液肥を農地に還元するエネルギーの地産地消・循環型のバイオガスプラントです。環境負荷を軽減しながら、糞尿・水産残渣処理の負担軽減を実現し、液肥による有機的な農作物の提供や付加価値向上を図る地域一体のエネルギー事業です。

地域産業連携拠点施設「いちご分校」

地域産業連携拠点施設「いちご分校」は、地方創生事業を活用し、旧大岸小学校鉱山分校を改修した施設で、「農業研修施設」「加工販売施設」「交流施設」で構成されています。
農業研修による新規就農者の育成により農業の担い手を確保し、6次産業化の推進により異なる産業を連携させることによって、地域コミュニティを活性化させ、移住・定住者の増加を図ることを目的としています。

町民ガイド観光ツアー

噴火湾とようら観光協会と連携し、町民のガイドによる観光ツアーを企画しています。
噴火湾とようら観光協会は、胆振管内の観光協会では初めての「旅行サービス手配業」に登録することで、旅行仲介業が可能となり、町民に有償でガイドを委託できるようになりました。
今後は、豊浦町を一番よく知る町民に観光に携わっていただき、まちの魅力を伝える各種ツアーの構築を進めていきます。

◆ 発行日／令和２年12月　発　行／北海道豊浦町 地方創生推進室　印　刷／有限会社さんおん